

## ■ 阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】：河川堤防内の構造物周りの水みちを検知する技術
【背景・課題】： 過去より河川堤防の損傷は水みちが大きな要因になることが知られている。実験室レベルでは水みちの発生やその拡大プロセスを把握することができるが、河川内に構築された実構造で検知する手法は確立されていない。
【ゴール・目標】： 河川堤防を開削することなく、堤防決壊等の損傷原因を発見することで、河川管理者のみならず社会から求められる安全・安心の確保につながる。
【実現イメージ】： ・最高レベルの安全性と走りやすさが備わった高速道路
【取組み】： ・最新技術による点検・診断や新素材・新工法の採用による補修・補強
【対象設備－対象構造物】： ・土工・トンネル – トンネル
【業務分野】： ・建設・更新

(2022年9月時点)